

大学への数学

2024年11月号



● 表紙の動物紹介

ボーダー・コリー (イヌ科)

ボーダーとは「国境」という意味で、イングランドとスコットランドの国境付近が原産のため名付けられたといわれています。
とても頭が良くスタミナもあるため、昔から牧羊犬として活躍しています。

表紙デザイン 美浪可奈

表紙イラスト 大島 梢

特集 確率は裏切らない。

講義／数A	素 ^す の確率でいろいろと	青木亮二	2 b
要点の整理／数A	確率の確認	飯島康之, 横戸宏紀	6 b
ベーシック演習	確率の基礎を確実に	増田和貴	8 a
スタンダード演習	確率への passion	山崎海斗	12 a
日々の演習	確率・石を玉にチェンジ！	飯島康之, 横戸宏紀	18 b
要点の整理／数 C	曲線の定義と基本公式	安田 亨	30 b
演習／数 C	最近の 2 次曲線事情	安田 亨	32 b
数 C 基礎演習	複素数平面の足固め	浦辺理樹	38 a
講義／数 C	複素数平面	雲幸一郎	42 b
要点の整理／数 C	複素数平面の必須事項	森 茂樹	46 b
演習／数 C	複素数平面	森 茂樹	48 b
受験数学ダイアログ	空間図形に挑戦	飯島康之, 横戸宏紀	54 b
特別講義	ここで接して。	塩崎ひかる	58 c
数学アラカルト	データの分析の散歩道	藤木 淳	62 e
数学の小話	ガウスの弟子と円々対応	大沢健夫	66 e
巻頭言	情は人の為ならず	北村義浩	1 e
化学と数学の接点～リサイクルの化学	それ, リサイクルできます！	早川正一	68 e
インタビュー・私の軌跡	加塩朋和 数学ひとすじ (後編)	塩繁 学	72 e
読者 OB の受験体験記	東京大学理科二類への道	藤田昂生	86 e
読者と作るページ	編集部の手 ^て ノートから		76
	読者の接点		95 e
《宿題》	今月の問題と 9 月号のレポート		78 d
学力コンテスト	今月の問題		89 c
	応募のしかた		87
	9 月号の解答		80
	9 月号の成績発表		84

本誌で使用する記号

難易度と目標解答時間について、入試問題の難易度を 10 段階に分けたとして、

A は基本 (5 以下), B は標準 (6, 7), C は発展 (8, 9), D は難問 (10)。

また、目標解答時間は、無印は 5 分もかからず、○は 5 分、* は 1 つ 10 分、♯は無制限。

解；解答、別解；別解について、

☆；巧妙ではあるが、無理のない、あるいは、ぜひ身につけてほしい解法

★；相当に巧妙で、思い付かなくても心配いらない解法

⇒注；初学者のためのもの ⇒注；すべての人のためのもの

➡注；意欲的な人のためのもの

■はコメントを意味するマークで、■；すべての人のためのもの

■；意欲的な人のためのもの

上のページ数の横にある記号は、

a：足固めをしたい人向け

b：すべての受験生向け

c：基本は十分に身につけている人向け

d：意欲的な人向け (かなり難しい)

e：すべての人向けの読み物風記事

←易 難→

a c d

b

を原則としますが、あくまでも 1 つの目安ですから、例えば演習記事については各問毎の難易度の表も参考にして下さい。